

専修大学商学研究所所報

(2006年2月14日現在)

1 運営

(1) 定期所員総会 (2005・6・7)

1. 平成16年度事業ならびに会計報告 (承認)
2. 平成17年度事業実行計画案 (承認)
3. 平成17年度実行予算案 (総額5,987,000円) (承認)

(2) 運営委員会

1月10日までに6回開催

2 研究活動

(1) 定例研究会

1. 杉野文俊所員「学生無年金障害者訴訟について」(6月7日)
2. 小田 稔氏「コンプライアンス経営・CSR(企業の社会的責任)と消費者対応」(7月6日)
3. 生田目崇所員「日本株式市場の諸分析」(1月10日)
4. 高橋牧男氏「スーパーマーケット・ビジネスの実態と展望」(2月21日)

(2) 公開シンポジウム

第1回 大学院商学研究科・商学研究所共同開催公開国際シンポジウム

統一テーマ：『地域経済における研究所・企業の役割一日・韓の取組み』

- パネリスト：1. 「防災、リスクマネジメント視点から見た企業・大学の役割」上田和勇，専修大学教授，商学研究所所長
2. 「企業における地域とのかかわりー日本興亜損保における森林への取組みを中心にー」岩坂健志，日本興亜損害保険株式会社 CSR室
3. 「地域における研究院の役割と今後の課題」慶南大学教授，慶南大学地域問題研究院院長，成泰鉉
4. 「大学と地域のかかわり」見目洋子，専修大学助教授

日 時：10月22日(土)13:00~16:45

場 所：神田校舎大学院棟731教室

第2回 全体テーマ：『企業の社会的責任とは何かーコーポレートガバナンスと企業倫理を中心にー』

I 講演

1. 「企業の社会的責任を考える」中村瑞穂，作新大学大学院教授(明治大学名誉教授)
2. 「企業の社会的責任の理論動向について」水村典弘，埼玉大学助教授
3. 「企業の社会的責任の日米欧の比較」吉森賢，放送大学教授(横浜国立大学名誉教授)

II シンポジウム

パネラー：中村瑞穂，水村典弘，吉森賢

討論者：貫 隆夫，大東文化大学教授

赤羽新太郎，専修大学商学部教授

日 時：11月5日(土)13:30~17:00

場 所：専修大学神田校舎106教室

(3) 研究プロジェクト

(A) 赤羽チーム：赤羽新太郎・黒川保美所員，大柳康司先生，貫 隆夫先生，風間信隆先生(50万)3ヵ年計画の3年目
「経営の新潮流：企業倫理と企業統合を中心に」

(B) 中村チーム：中村 博・生田目崇・奥瀬喜之・熊倉広志所員(50万)3ヵ年計画の2年目
「顧客の購買履歴データを利用したマーケットセグメンテーションの実証研究」

(C) 上田チーム：上田和勇・手嶋宣之・首藤昭信・杉野文俊所員，姜特別研究員，越山健彦氏，岩坂健志氏(50万)3ヵ年計画の1年目
「企業経営と現代的リスクマネジメント」

3 刊行書籍

(1) 商学研究所報発行

- ・第37巻第1号(2005・9) 関根 孝所員「中国家電品流通の端緒的研究」(450部)
- ・第37巻第2号(2005・10) 杉野 文俊所員「リスクマネジメントとコーポレートガバナンスに関する一考察ー「経営者リスク」のリスクマネジメントについてー」(450部)
- ・第37巻第3号(2006・1) 大学院商学研究科・商学研究所共同開催公開国際シンポジウム(2005年10月)『地域経済における研究所・企業の役割一日・韓の取組み』(700部)
- ・第37巻第4号(2006・2) 関根 孝所員「韓国百貨店のイノベーションーコア・フォーマットの行方」(450部)
- ・第37巻第5号(2006・3) 商学研究所プロジェクト経営の新潮流シンポジウム「企業の社会的責任とは何かーコーポレートガバナンスと企業倫理を中心にー」(700部)

(2) 専修ビジネスレビュー発行

創刊号(2006・3)

(3) 商学研究所叢書

叢書第5巻『環境コミュニケーションのダイナミズムー市場インセンティブと市民社会への浸透ー』(白桃書房，2006・3)(100部)

4 その他

所員数は，合計81名。